

2011 年度  
E A S 機器の市場規模に関する調査  
報 告 書

2012 年 5 月

日本万引防止システム協会  
社団法人日本リサーチ総合研究所

## 目 次

第1章 調査の概要 .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の方法 .....	1
3. 回収結果 .....	2
4. 本報告書をみるにあたって .....	3
第2章 調査結果 .....	4
1. E A S機器の設置台数 .....	4
2. E A S機器の設置台数（店舗別設置台数とその割合） .....	5
(1) 店舗別設置台数 .....	5
(2) 店舗別割合 .....	9
3. E A S機器の設置台数（ステッカー貼付台数とその割合） .....	10
4. E A S機器導入店表示 POP が付いている店舗の割合 .....	11
5. E A S機器の設置台数（動作方式別設置台数とその割合） .....	12
(1) 動作方式別設置台数 .....	12
(2) 動作方式別割合 .....	13
6. E A Sタグの出荷数量 .....	14
7. E A Sタグの出荷数量（種類別出荷数量とその割合） .....	15
(1) 種類別出荷数量 .....	15
(2) 種類別割合 .....	16
8. E A S機器の出荷金額 .....	17
9. 保守費の金額 .....	18
10. ケーブル式盗難防止機器の出荷金額 .....	19
[資 料] .....	20
参考図1 E A S機器の設置台数（全体・店舗別） .....	21
参考図2 E A S機器の設置台数（全体・動作方式別） .....	21
参考図3 E A Sタグの設出荷数量（全体・種類別） .....	22
調査票 .....	23

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、EAS（Electronic Article Surveillance：電子商品監視）機器の市場規模を把握し、今後のEASシステム・機器の普及促進のための基礎資料に資することを目的とする。

### 2. 調査の方法

日本万引防止システム協会の会員企業（26社）、賛助会員企業（1社）、及びEAS機器を製造・販売している非会員企業（11社）、あわせて38社に対して、アンケート調査（「2011年EAS機器の市場規模に関するアンケート」）を実施した。

アンケート調査の概要及び調査項目は、下表で示したとおりである。

#### <アンケート調査の概要>

○調査対象	日本万引防止システム協会の会員企業（26社） 日本万引防止システム協会の賛助会員企業（1社） EAS機器を製造・販売している非会員企業（11社）
○調査対象数	上記の38社
○調査方法	郵送調査
○調査期間	2012年4月4日～2012年5月15日

#### <設問項目>

- 問1 EAS機器の設置台数
- 問2 (1) EAS機器の設置台数（店舗別割合）  
(2) EAS機器の設置台数（ステッカー貼付台数の割合）  
(3) EAS機器導入店表示POPが付いている店舗の割合
- 問3 EAS機器の設置台数（動作方式別割合）
- 問4 (1) EASタグの出荷数量  
(2) EASタグの出荷数量（種類別割合）
- 問5 EAS機器の売上（出荷金額）  
EAS機器の売上のうち、保守費
- 問6 ケーブル式盗難防止機器の売上（出荷金額）
- 問7 日本万引防止システム協会に対する要望・意見

（※詳細については巻末資料の「調査票」をご参照ください。）

### 3. 回収結果

回答企業数：24社      回収率：63.2%

#### <回答状況>

	NO	企業名	回答の有無
正会員	1	アイデックコントロールズ株式会社	○
	2	ACTUNI 株式会社	○
	3	株式会社エスキューブ	○
	4	エム・ケー・パビック株式会社	○
	5	株式会社岡村製作所	—
	6	株式会社キャトルプラン	○
	7	九州日本電気ソフトウェア株式会社	○
	8	グンゼ株式会社	○
	9	株式会社コージン	—
	10	国際警備株式会社	○
	11	コミー株式会社	○
	12	株式会社ジーネット	○
	13	シグマ株式会社	—
	14	株式会社ジャストコーポレーション	—
	15	住友スリーエム株式会社	○
	16	西武産業株式会社	—
	17	高千穂交易株式会社	○
	18	タカヤ株式会社	○
	19	チェスコムアドバンス株式会社	○
	20	株式会社チェックポイントシステムジャパン	○
	21	株式会社店舗プランニング	—
	22	株式会社トスカ	○
	23	松尾産業株式会社	○
	24	株式会社三宅	○
	25	ユニチカ株式会社	○
	26	ユニパルス株式会社	○
賛助会員	27	セコム株式会社	○
非会員	28	株式会社ガリレオ	○
	29	株式会社オプテック	—
	30	株式会社エスエフ	—
	31	株式会社エムアールビジネス	○
	32	株式会社ソフトサービス	—
	33	トマトランド株式会社	—
	34	株式会社 KSM	—
	35	株式会社トゥーワン	—
	36	TIS トータルサービス株式会社	○
	37	竹中エンジニアリング株式会社	—
	38	有限会社ユナイテッドシステム	—

## 4. 本報告書をみるにあたって

### (1) 回答企業数と集計対象

調査対象とした企業には、アンケートの全ての設問項目に該当しない企業も含まれている。該当しない企業は、回答企業数には含めているが、集計対象からは除いている。

### (2) 本報告書における数値

本報告書では、2009年度～2011年度の3年間の実績をまとめている。

各年度の数値は1月～12月の実績を合計したものである。

※これまでの調査では各社の決算月にあわせて決算数値を調査していたが、昨年度からデータの整合性を高め、直近の市場状況を把握するために、上記の期間に統一して数値を把握している。

また、設問によっては、「該当なし」や「資料なし」などの理由で無回答の場合があり、その分は集計に含まれていない。なお、あくまで各数値は各社からの数値をそのまま集計したものである。

### (3) 時系列推移をみるための各年度の数値

本報告書では、2011年度（2011年1月～2011年12月）の数値だけでなく、時系列の推移をみるために2010年度（2010年1月～2010年12月）と2009年度（2009年1月～2009年12月）の数値もあわせて掲載している。

時系列の推移をみるにあたり、各年度の数値の回答数が異なる場合がある点にご留意ください。

### (4) 本報告書におけるEAS機器の設置台数

本報告書におけるEAS機器の設置台数は、メーカーまたは（海外製品の）マスターディストリビューターのエンドユーザーへの設置台数としている。

また、天井式、マット式、ゲート式とも、ゲート（アンテナ）1機につき1台とカウントしている。（例えばゲート式の場合は、設置箇所（出入り口）が1箇所でもゲートが2本の場合は2台、3本の場合は3台、4本の場合は4台とカウントする。）

### (5) アンケート調査における図表の見方

本報告書では、アンケート結果を図表で示しているが、作図・表の都合上、設問や回答の選択肢を省略している場合があるので、巻末の「調査票」をご参照ください。

## 第2章 調査結果

### 1. E A S 機器の設置台数

(図表 1 参照)

#### <2011 年度の状況>

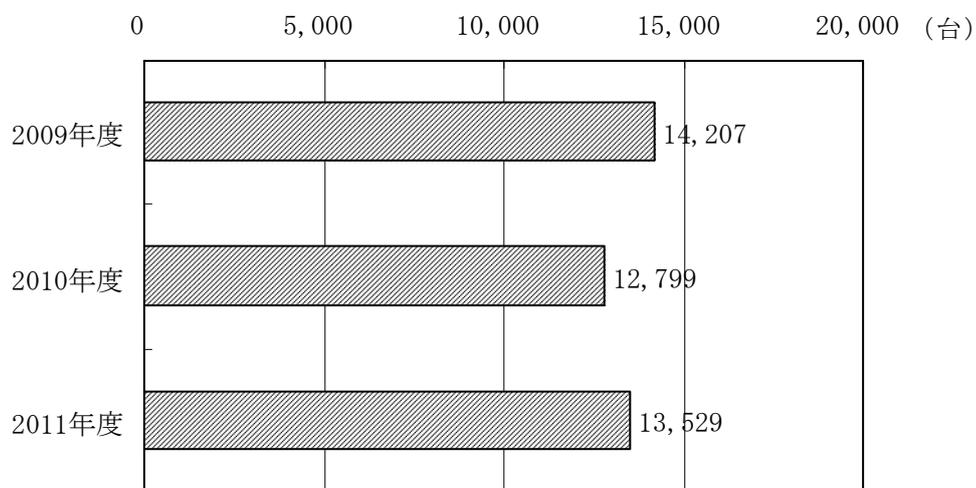
○2011 年度の E A S 機器の設置台数は 13,529 台である。

#### <2009 年度からの推移>

○設置台数は、2010 年度に対前年度で 1,408 台減少したものの、2011 年度は 730 台の増加となった。

○伸び率でみると、2010 年度は 9.9%の減少、2011 年度は 5.7%の増加である。

図表 1 E A S 機器の設置台数



#### <設置台数及び伸び率>

	2009 年度	2010 年度	2011 年度
設置台数 (台)	14,207	12,799	13,529
伸び率※ (%)	-	▲9.9	5.7

※伸び率 = (当年度設置台数 ÷ 前年度設置台数 - 1) × 100

## 2. EAS機器の設置台数（店舗別設置台数とその割合）

### （1）店舗別設置台数

（図表2、図表3参照）

#### <2011年度の状況>

- 店舗別に設置状況をみると、「その他」を除けば「総合スーパー」（2,387台）の設置が最も多く、以下、「家電量販店」（1,992台）、「衣料品、ブランドショップ」（1,983台）、「ホームセンター」（1,501台）、「ドラッグストア」（1,483台）、「AV・メディアソフト店」（706台）などが続いている。  
なお、「その他」は1,975台である。

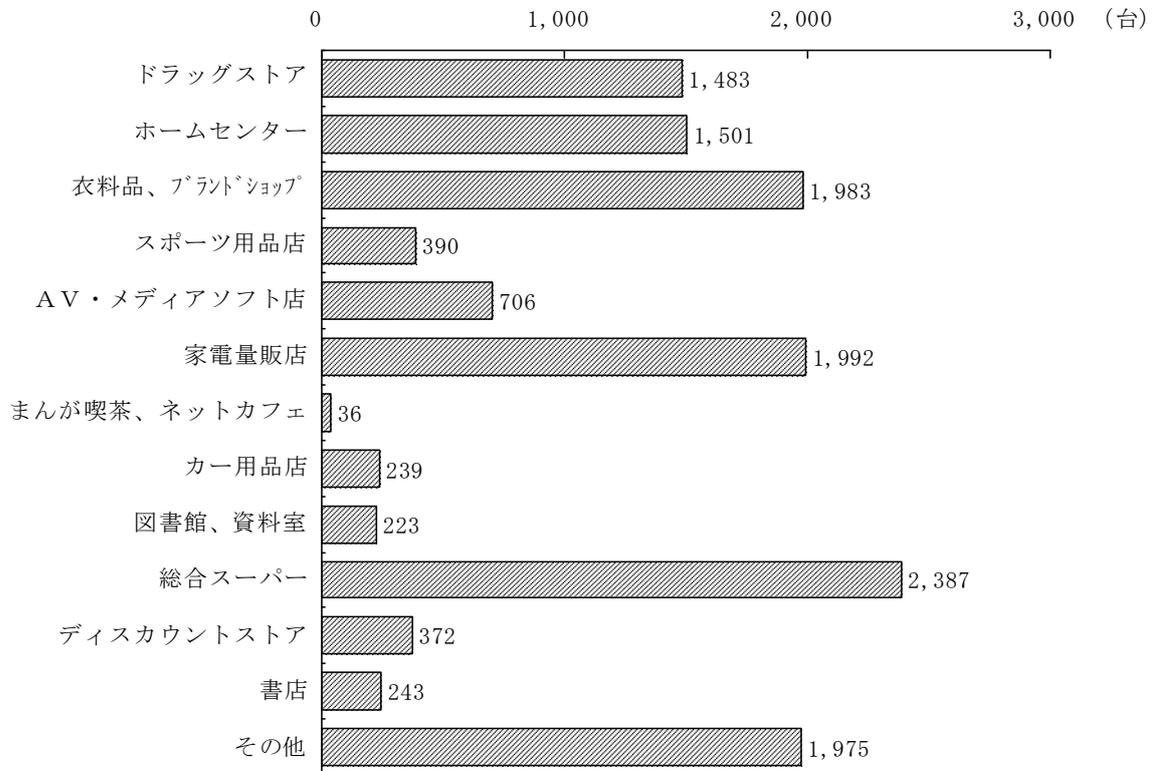
#### <2009年度からの推移>

- 「総合スーパー」、「ディスカウントストア」、「カー用品店」は、年々、増加しており、とくに「総合スーパー」は2011年度に大きな増加がみられた。一方、「図書館、資料室」は減少傾向が続いている。
- 「衣料品、ブランドショップ」、「家電量販店」、「ホームセンター」は、2010年度は減少したものの、2011年度は増加となった。
- 「ドラッグストア」、「スポーツ用品店」、「AV・メディアソフト店」、「まんが喫茶、ネットカフェ」、「書店」は、2010年度は増加したものの、2011年度は減少となった。
- 「その他」は、2010年度で半減し、2011年度も減少が続いている。

注：本年度調査で用いた店舗の分類は下記のとおりである。

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| ①ドラッグストア          | ⑦まんが喫茶、ネットカフェ |
| ②ホームセンター          | ⑧カー用品店        |
| ③衣料品、ブランドショップ     | ⑨図書館、資料室      |
| ④スポーツ用品店          | ⑩総合スーパー       |
| ⑤AV・メディアソフト店      | ⑪ディスカウントストア   |
| ⑥家電量販店            | ⑫書店           |
| (カメラ・パソコンショップを含む) | ⑬その他          |

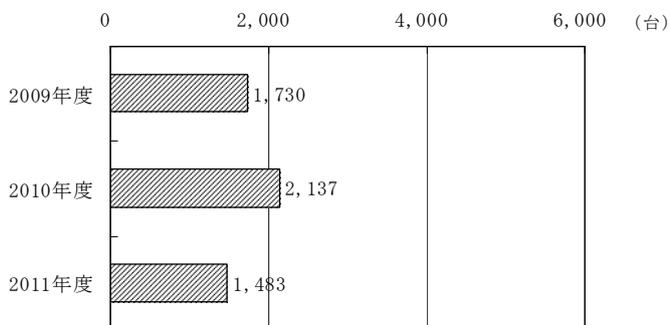
図表2 2011年度におけるEAS機器の設置台数（店舗別設置台数）



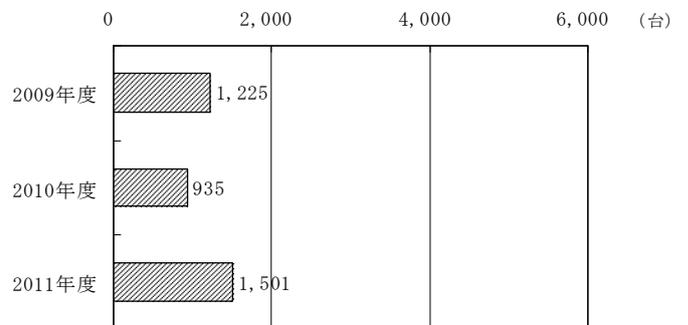
注：「その他」は、パチンコ、小物・雑貨店、ホビー、おもちゃ、工場など。

図表3 EAS機器の設置台数（店舗別設置台数）

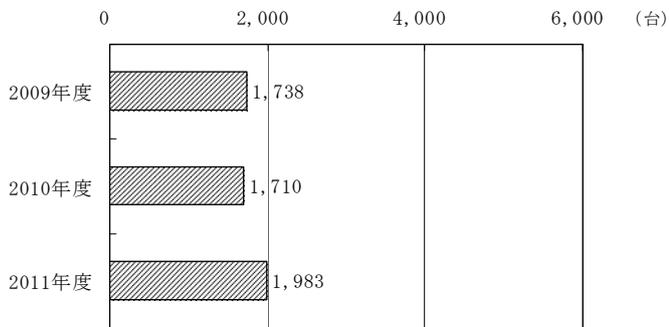
①ドラッグストア



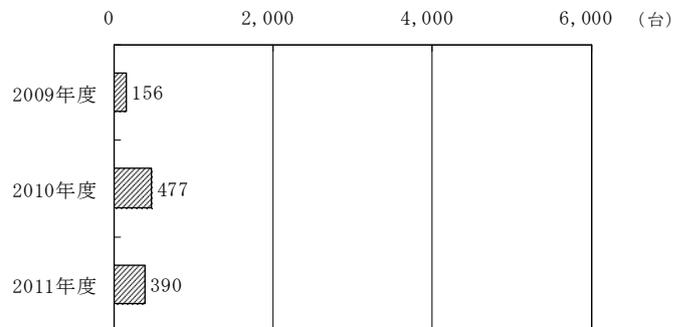
②ホームセンター



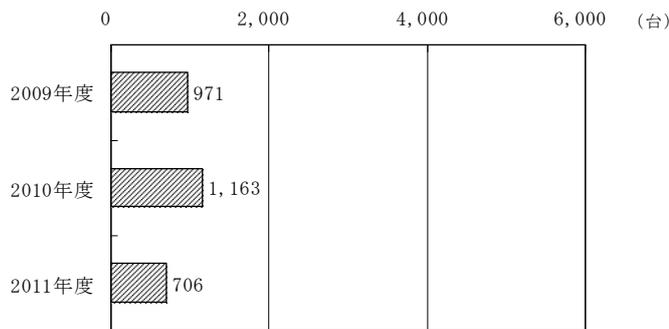
③衣料品、ブランドショップ



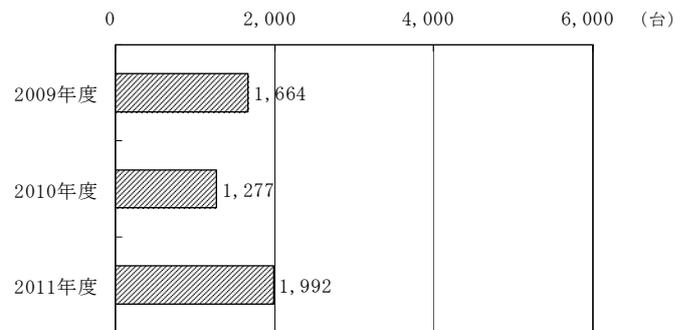
④スポーツ用品店



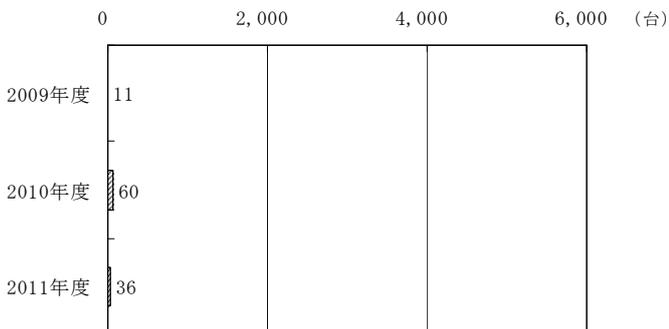
⑤AV・メディアソフト店



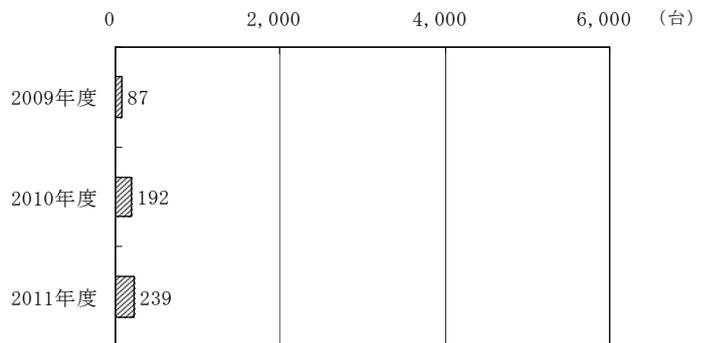
⑥家電量販店 (カメラ・パソコンショップを含む)



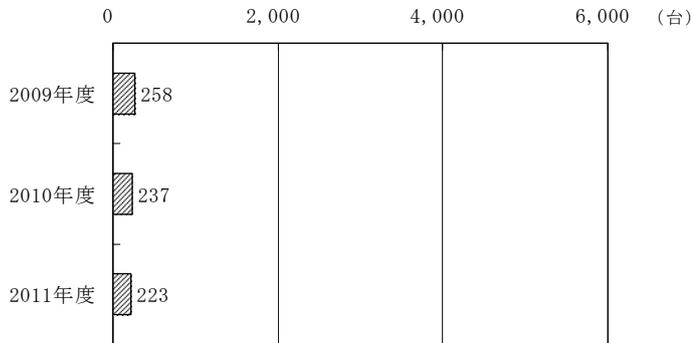
⑦まんが喫茶、ネットカフェ



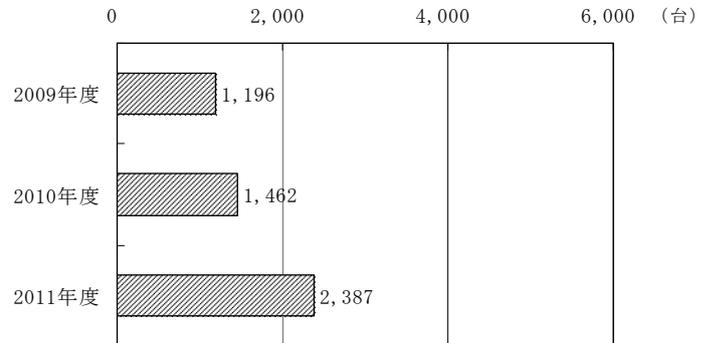
⑧カー用品店



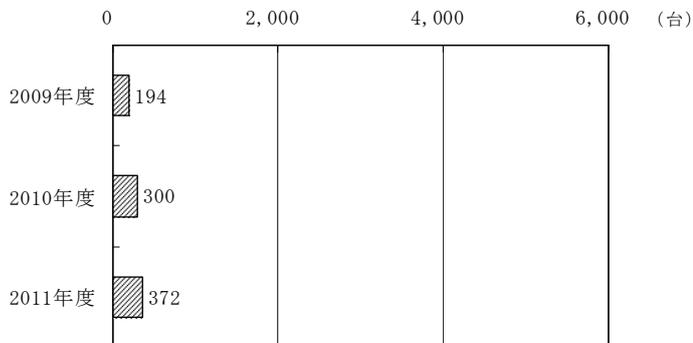
⑨図書館、資料室



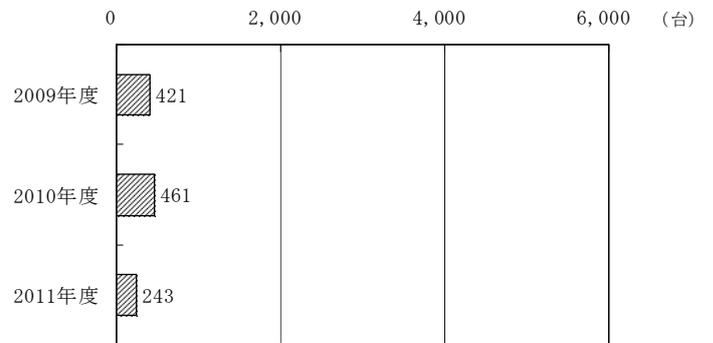
⑩総合スーパー



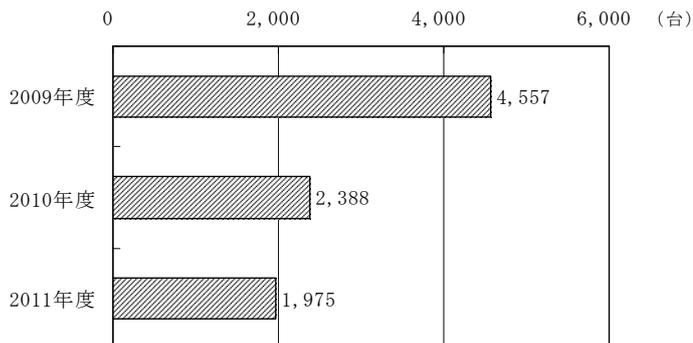
⑪ディスカウントストア



⑫書店



⑬その他



注：上図の数字をみるにあたり、以下の回答がある点にご留意ください。

- ・2009～2011年度で「カー用品店」を「ホームセンター」に含めて回答。
- ・2009～2011年度で「ディスカウントストア」を「ホームセンター」に含めて回答。

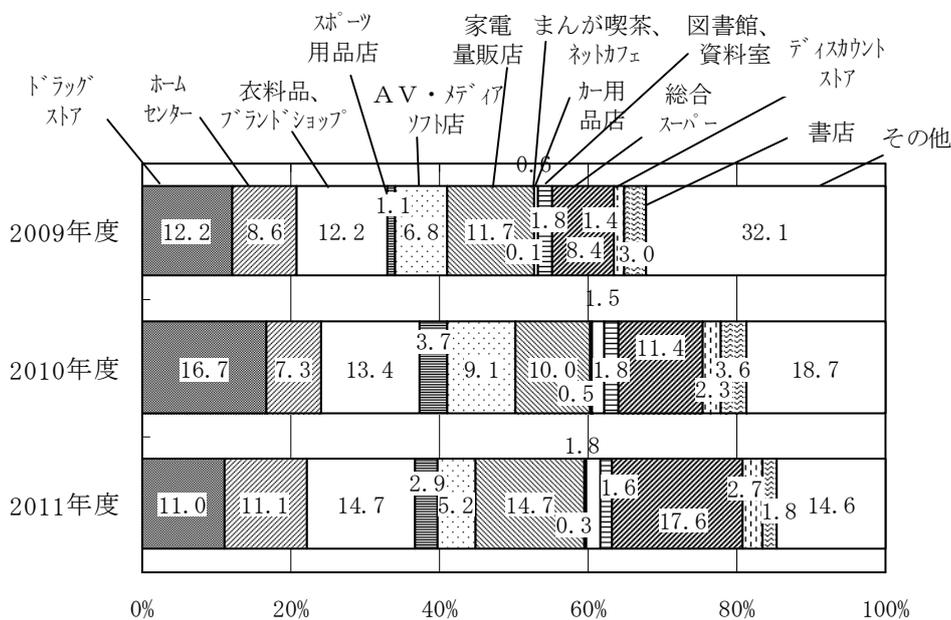
(2) 店舗別割合

(図表4参照)

<2011年度の状況>  
 ○「総合スーパー」(17.6%)、「家電量販店」(14.7%)、「衣料品、ブランドショップ」(14.7%)、「ホームセンター」(11.1%)、「ドラッグストア」(11.0%)、「AV・メディアソフト店」(5.2%)などの割合が高い。「その他」は1割台半ば(14.6%)である。

<2009年度からの推移>  
 ○2011年度は、「総合スーパー」、「家電量販店」、「衣料品、ブランドショップ」、「ホームセンター」、「ディスカウントストア」などの割合が増加した。  
 ○一方、「ドラッグストア」、「AV・メディアソフト店」、「書店」の割合は、2010年度は増加したが、2011年度は低下した。  
 ○「その他」の割合は、2010年度、2011年度と減少が続いた。

図表4 EAS機器の設置台数(店舗別割合)



注：図表3の注1を参照。

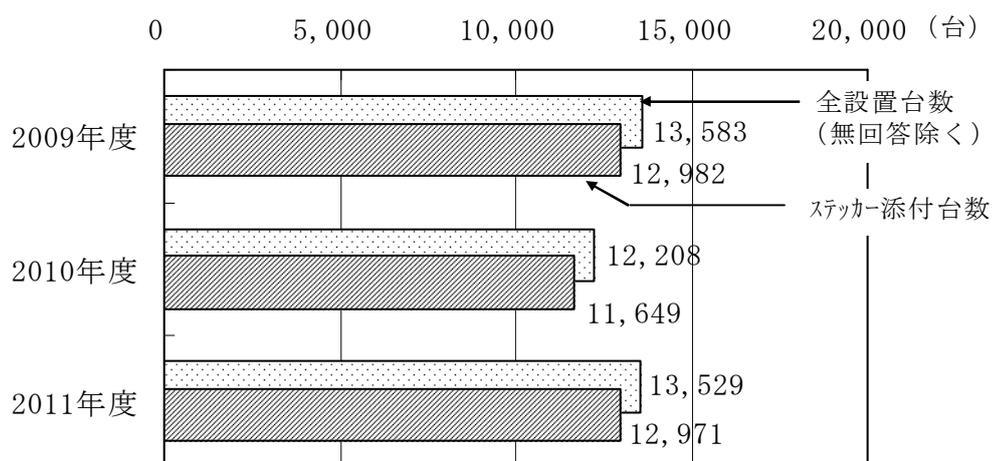
### 3. E A S 機器の設置台数（ステッカー貼付台数とその割合）

（図表 5 参照）

<2011 年度の状況>  
 ○ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数は 12,971 台であり、全設置台数の 95.9% を占めている。

<2009 年度からの推移>  
 ○ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数の割合は、2009 年度が 95.6%、2010 年度が 95.4%、2011 年度が 95.9% であり、高い添付率が続いている。

図表 5 ステッカーが添付されている E A S 機器の設置台数とその割合



	2009 年度	2010 年度	2011 年度
ステッカー添付台数 (台)	12,982	11,649	12,971
全設置台数 (台) ※	13,583	12,208	13,529
ステッカー添付台数の 全設置台数に占める割合 (%)	95.6	95.4	95.9

※全設置台数は、ステッカー添付台数の割合が無回答のものを除いて集計しているため、図表 1 の設置台数の合計に一致しない。

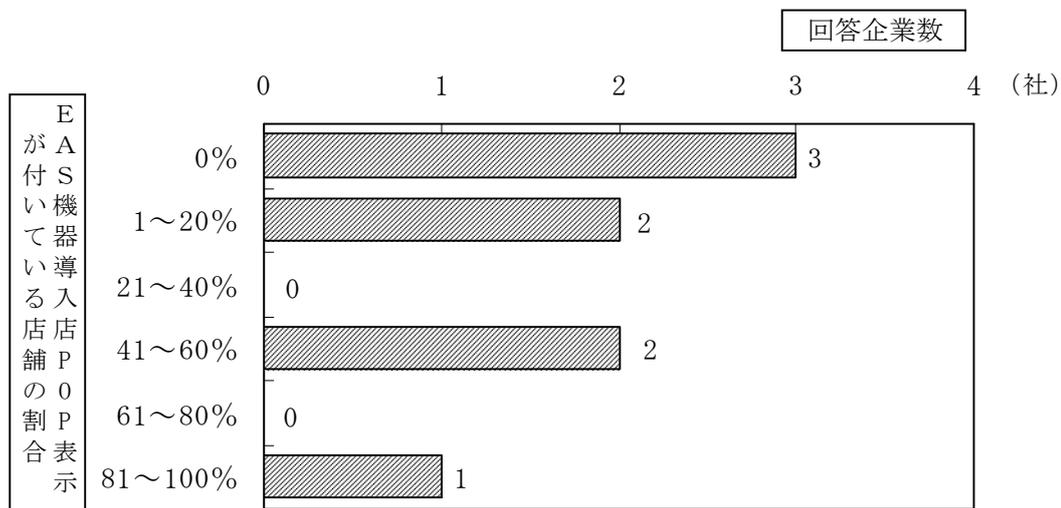
#### 4. E A S 機器導入店表示 POP が付いている店舗の割合

(図表 6 参照)

##### <2011 年度の状況>

○ E A S 機器導入店表示 POP が付いている店舗の割合をみると、0%と回答した企業が 3 社、1~20%が 2 社、41~60%が 2 社、81~100%が 1 社である。E A S 機器導入店表示 POP が付いている店舗の割合は、まだまだ低いという結果となった。

図表 6 E A S 機器導入店 POP 表示が付いている店舗の割合 (2011 年度)



注 1 : 上記は、E A S 機器を設置していない企業、不明・無回答を除いた 8 社についての集計である (2011 年度)。

注 2 : 2009 年度、2010 年度は、E A S 機器を設置していない企業、不明・無回答を除いた集計対象となる企業が 3 社 (いずれも 0%) であることから図化していない。

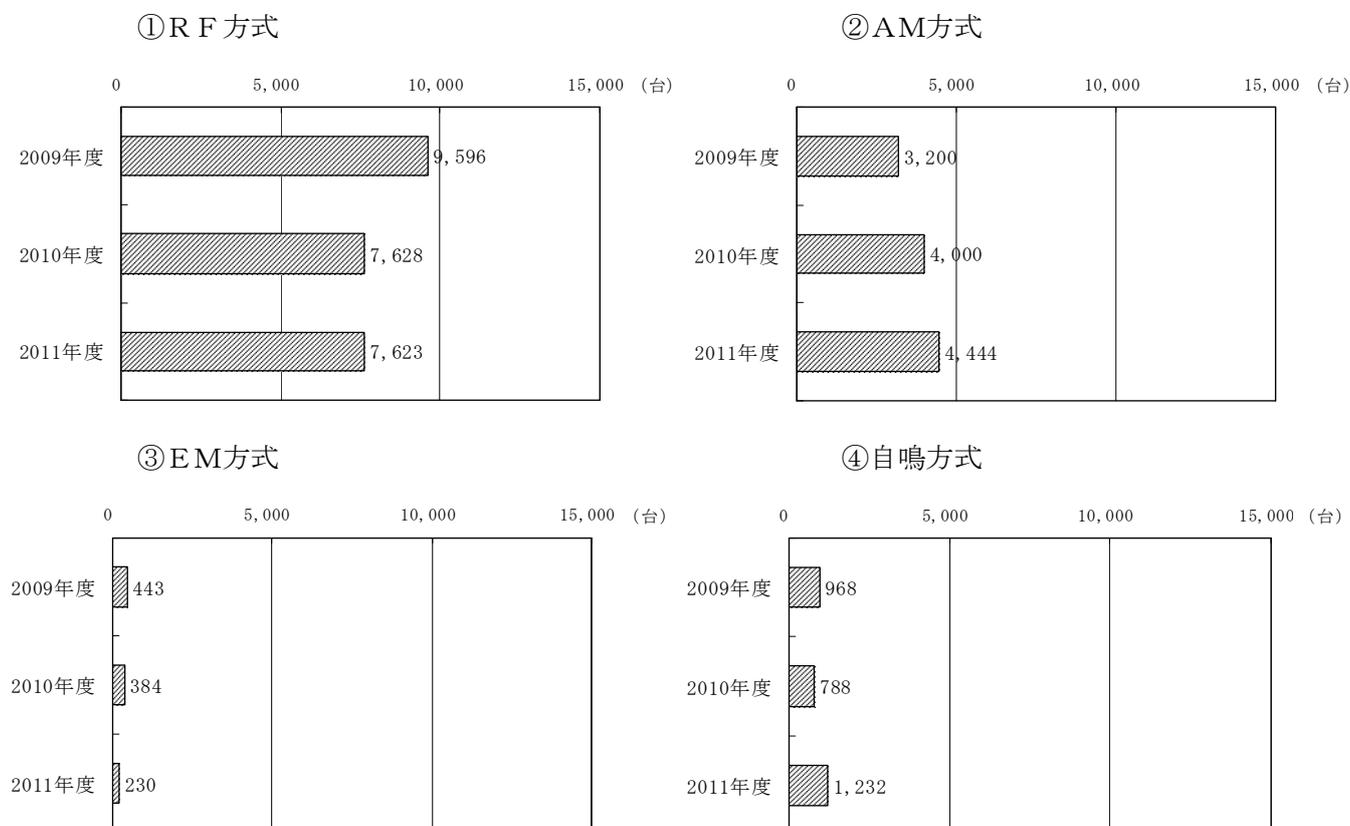
## 5. E A S 機器の設置台数（動作方式別設置台数とその割合）

### （1）動作方式別設置台数

（図表 7 参照）

<p>&lt;2011 年度の状況&gt;</p> <p>○E A S 機器の設置台数を動作方式別にみると、最も多いのが「R F 方式」の 7, 623 台で、「A M 方式」の 4, 444 台が次いでいる。「自鳴方式」は 1, 232 台、「E M 方式」は 230 台と少ない。</p> <p>&lt;2009 年度からの推移&gt;</p> <p>○「A M 方式」は、2010 年度が対前年度で 25.0%、2011 年度で 11.1%と増加が続いている。「自鳴方式」は、2010 年度は減少したものの、2011 年度は増加となった。</p> <p>○一方、「R F 方式」は 2010 年度にマイナス 20.5%と大きく減少し、2011 年度は微減となっている。「E M 方式」も減少が続いている。</p>
---

図表 7 E A S 機器の設置台数（動作方式別設置台数）



## (2) 動作方式別割合

(図表8参照)

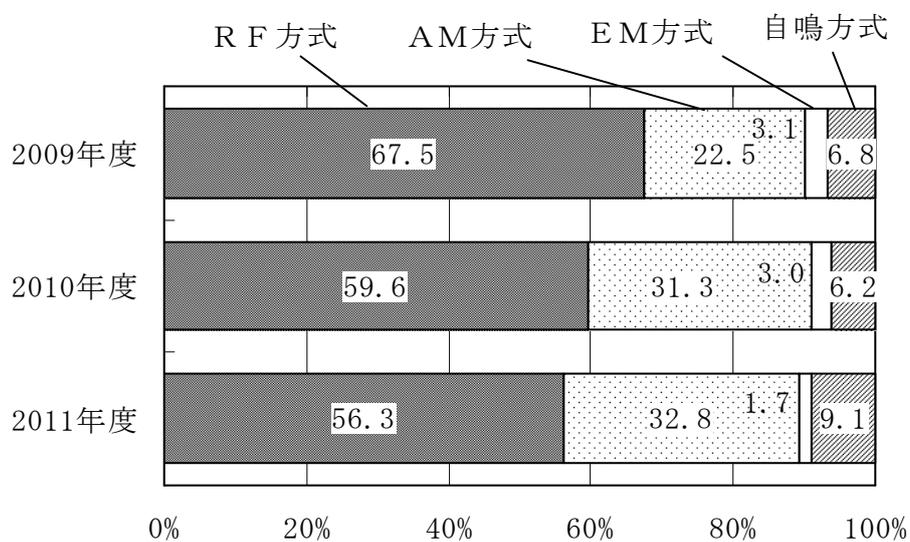
### <2011年度の状況>

○動作方式別にみた設置台数の割合をみると、「RF方式」が全体の6割弱(56.9%)を占める。「AM方式」は32.8%、「自鳴方式」は9.1%、「EM方式」は1.7%である。

### <2009年度からの推移>

○「RF方式」の割合は、2010年度、2011年度と低下が続いた。逆に「AM方式」の割合は、2010年度、2011年度と増加となった。「EM方式」の割合は減少が続く一方、「自鳴方式」の割合は2011年度は増加となった。

図表8 EAS機器の設置台数(動作方式別割合)



## 6. E A S タグの出荷数量

(図表 9 参照)

### <2011 年度の状況>

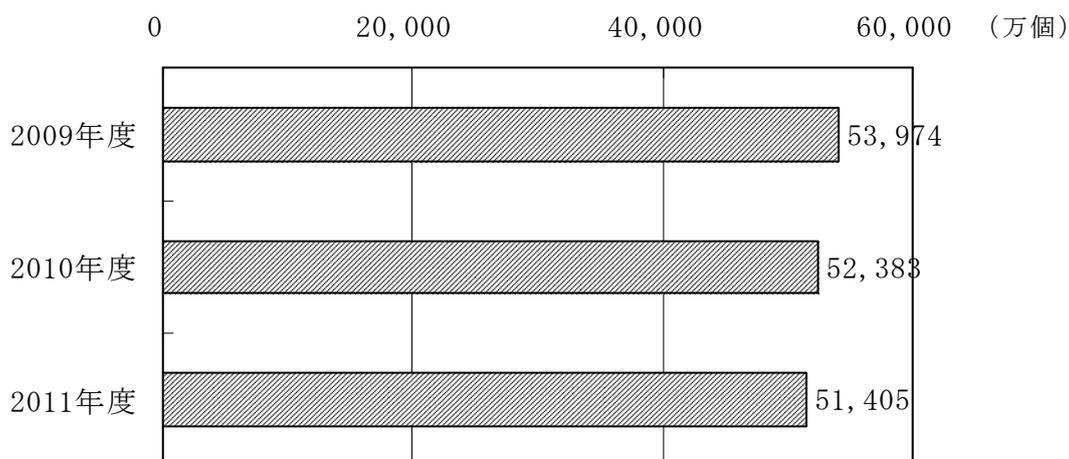
○2011 年度の E A S タグの出荷数量は 5 億 1,405 万個である。

### <2009 年度からの推移>

○出荷数量の減少が続いており、2010 年度は対前年で 1,591 万個の減少、2011 年度は 978 万個の減少となった。

○伸び率でみると、2010 年度は 2.9%の減少、2011 年度は 1.9%の減少である。

図表 9 E A S タグの出荷数量



### < E A S タグの出荷数量及び伸び率 >

	2009 年度	2010 年度	2011 年度
出荷数量 (万円)	53,974	52,383	51,405
伸び率※ (%)	-	▲2.9	▲1.9

※伸び率 = (当年度出荷数量 ÷ 前年度出荷数量 - 1) × 100

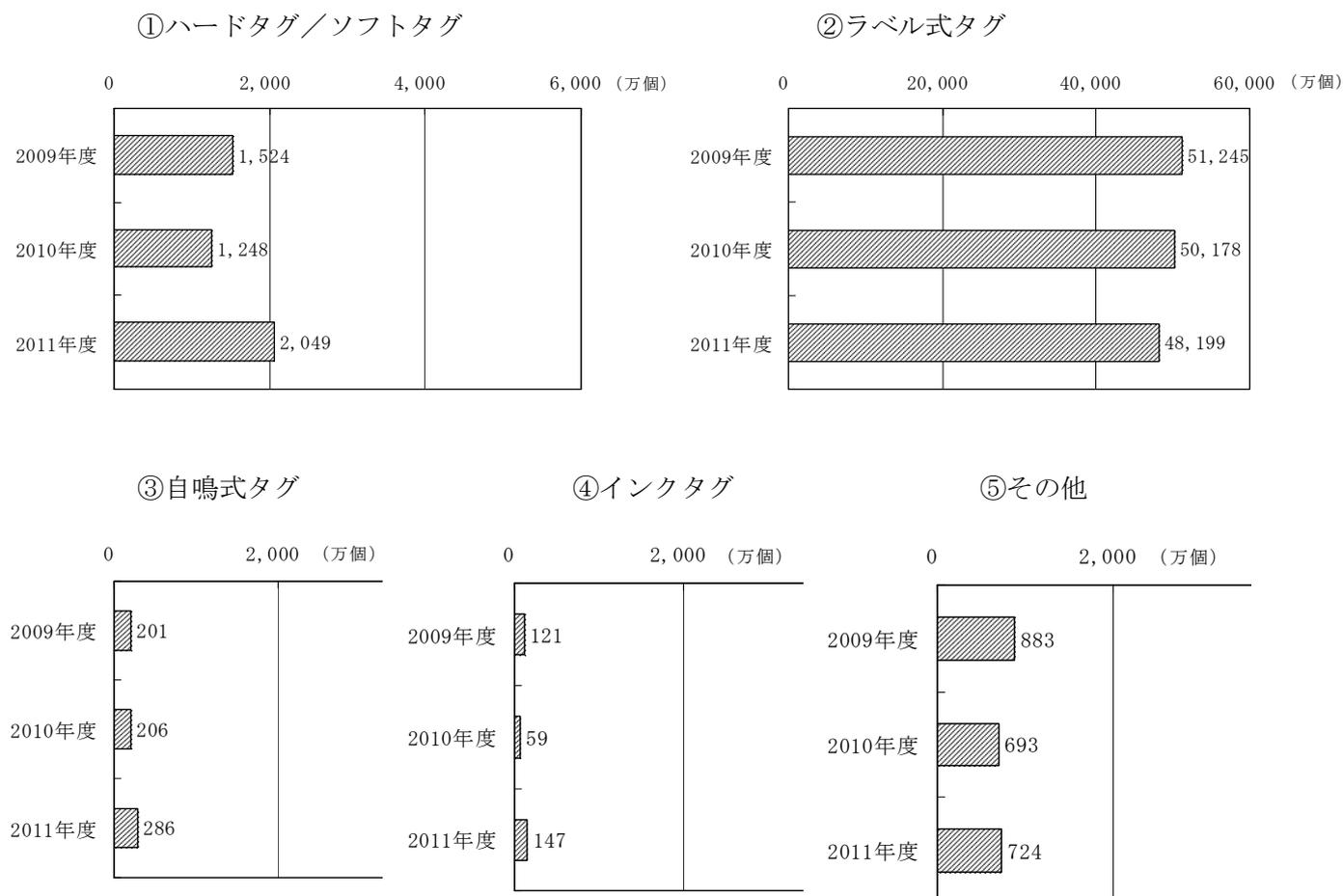
## 7. EASタグの出荷数量（種類別出荷数量とその割合）

### （1）種類別出荷数量

（図表10参照）

<p>&lt;2011年度の状況&gt;</p> <p>○種類別に出荷数量をみると、「ラベル式タグ」が4億8,199万個と圧倒的に多く、次いで「ハードタグ／ソフトタグ」の2,049万個、「その他」の724万個、「自鳴式タグ」の286万個、「インクタグ」の147万個となっている。</p> <p>&lt;2009年度からの推移&gt;</p> <p>○「ラベル式タグ」は減少傾向が続いている。「ハードタグ／ソフトタグ」は2010年度に減少となったものの、2011年度は大きく増加した。</p>
---

図表10 EASタグの出荷数量（種類別出荷数量）



## (2) 種類別割合

(図表 1 1 参照)

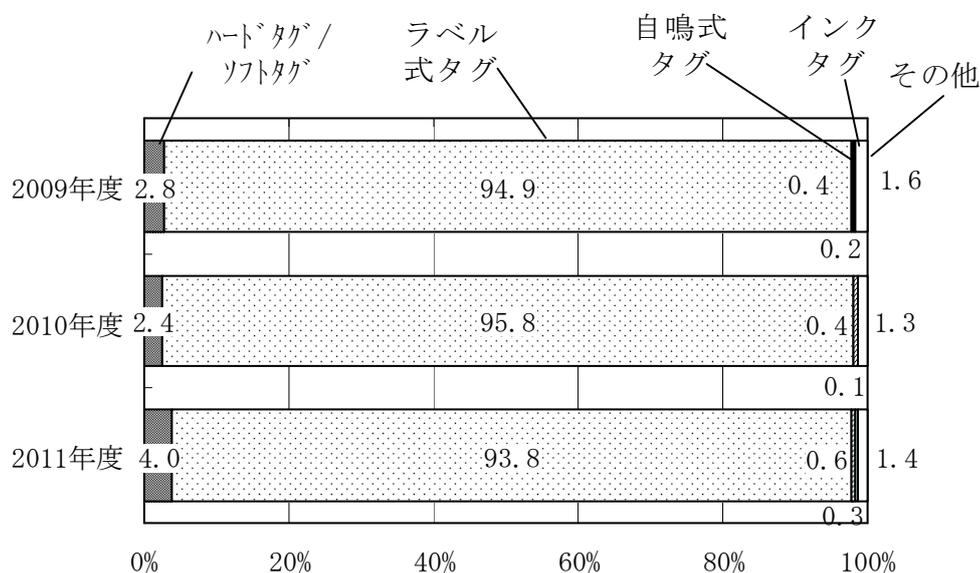
### <2011 年度の状況>

○出荷数量の大半が「ラベル式タグ」であり、全出荷数量の 93.8% を占める。「ソフトタグ/ハードタグ」は 4.0%、「自鳴式タグ」は 0.6%、「インクタグ」は 0.3%、「その他」は 1.4% である。

### <2009 年度からの推移>

○EAS タグの大半を占める「ラベル式タグ」は、2010 年度に引き続き 2011 年度も減少となった。逆に「ハードタグ/ソフトタグ」の割合は、2010 年度はやや減少したものの、2011 年度は増加となった。

図表 1 1 EAS タグの出荷数量 (種類別割合)



## 8. E A S 機器の出荷金額

(図表 1 2 参照)

### <2011 年度の状況>

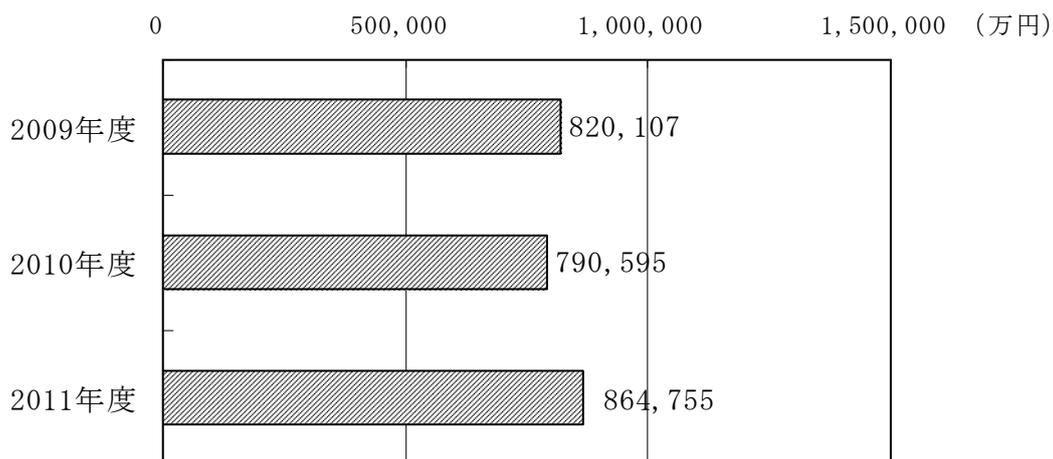
○2011 年度の E A S 機器の出荷金額は 86 億 4,755 万円である。

### <2009 年度からの推移>

○E A S 機器の出荷金額は、2010 年度は前年と比べて 2 億 9,512 万円減少したものの、2011 年度は 7 億 4,160 万円の増加となった。

○伸び率では、2010 年度が 3.6%の減少、2011 年度が 9.4%の増加となった。

図表 1 2 E A S 機器の出荷金額



### < E A S 機器の出荷金額及び伸び率 >

	2009 年度	2010 年度	2011 年度
出荷金額 (万円)	820,107	790,595	864,755
伸び率※ (%)	-	▲3.6	9.4

※伸び率 = (当年度出荷金額 ÷ 前年度出荷金額 - 1) × 100

## 9. 保守費の金額

(図表 1 3 参照)

### <2011 年度の状況>

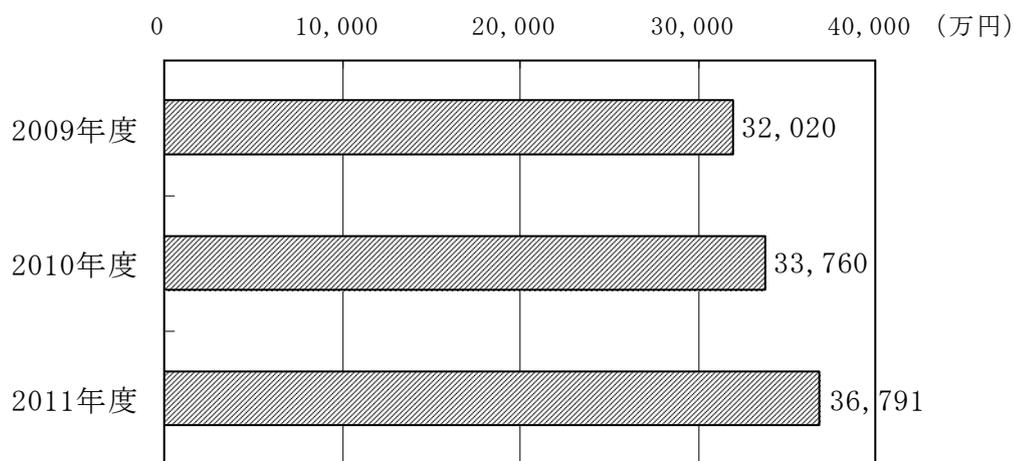
○2011 年度の E A S 機器の出荷金額のうち、保守費は 3 億 6,791 万円であり、出荷金額の 4.3%を占める。

### <2009 年度からの推移>

○保守費は年々増加しており、2009 年度が 3 億 2,020 万円、2010 年度が 3 億 3,760 万円、2011 年度が 3 億 6,791 万円であった。なお、E A S 機器の出荷金額に占める保守費の割合は、2009 年度が 3.9%、2010 年度が 4.3%と増加し、2011 年度は横ばいであった。

○保守費の伸び率は、2010 年度が 5.4%、2011 年度が 9.0%の増加であった。

図表 1 3 保守費の金額



<保守費の金額及び伸び率、E A S 機器の出荷金額に占める保守費の割合>

	2009 年度	2010 年度	2011 年度
保守費 (万円)	32,020	33,760	36,791
伸び率※ (%)	-	5.4	9.0
【参考】E A S 機器の出荷金額に占める保守費の割合 (%)	3.9	4.3	4.3

※伸び率 = (当年度出荷金額 ÷ 前年度出荷金額 - 1) × 100

## 10. ケーブル式盗難防止機器の出荷金額

(図表 1 4 参照)

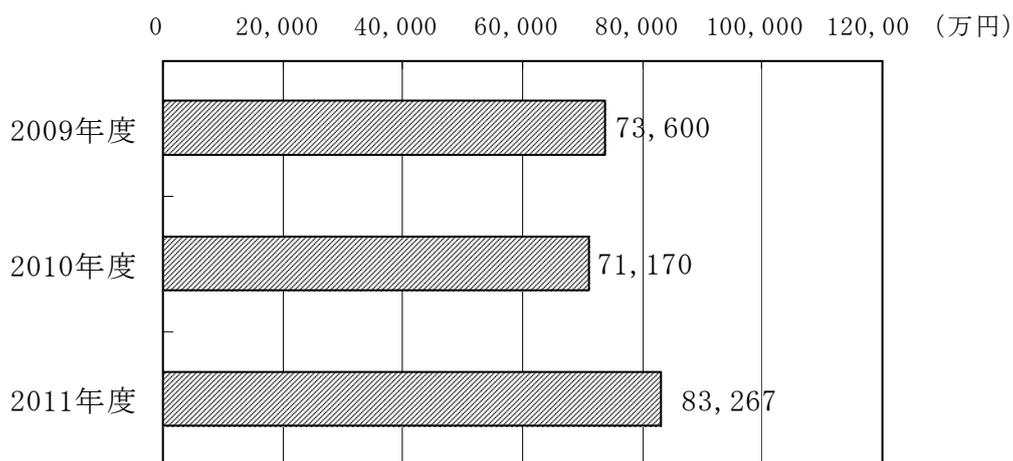
### <2011 年度の状況>

○2011 年度のケーブル式盗難防止機器の出荷金額は 8 億 3,267 万円である。

### <2009 年度からの推移>

○出荷金額の伸び率は、2010 年度が 3.3%の減少であったものの、2011 年度は 17.0%と大幅な増加となった。

図表 1 4 ケーブル式盗難防止機器の出荷金額



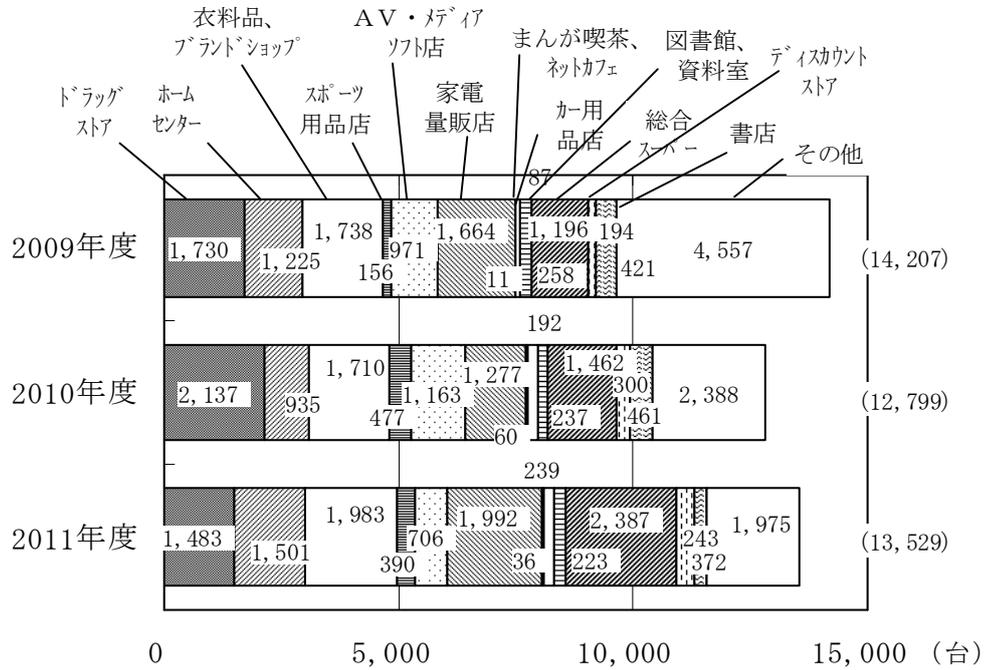
### <ケーブル式盗難防止機器の出荷金額及び伸び率>

	2009 年度	2010 年度	2011 年度
出荷金額 (万円)	73,600	71,170	83,267
伸び率※ (%)	-	▲3.3	17.0

※伸び率 = (当年度出荷金額 ÷ 前年度出荷金額 - 1) × 100

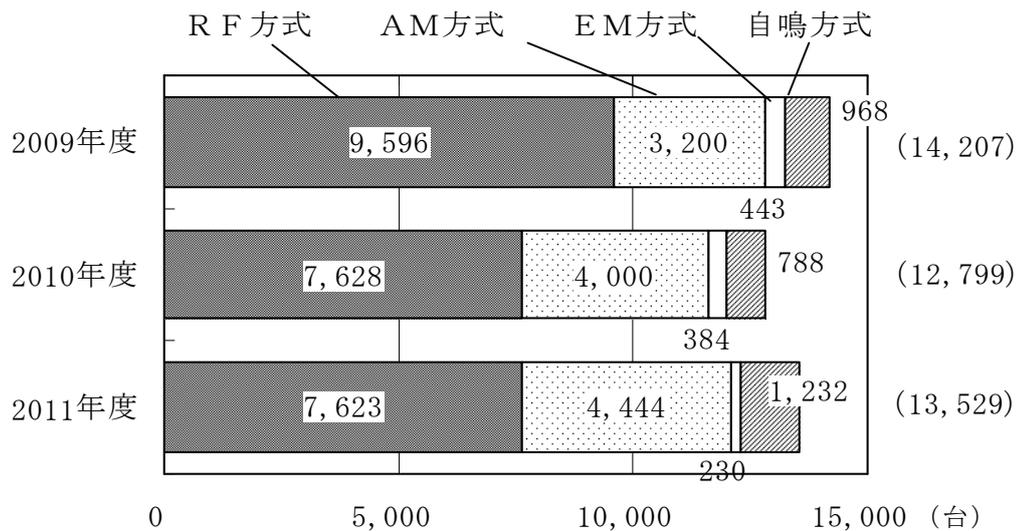
# [資 料]

参考図1 EAS機器の設置台数（全体・店舗別）



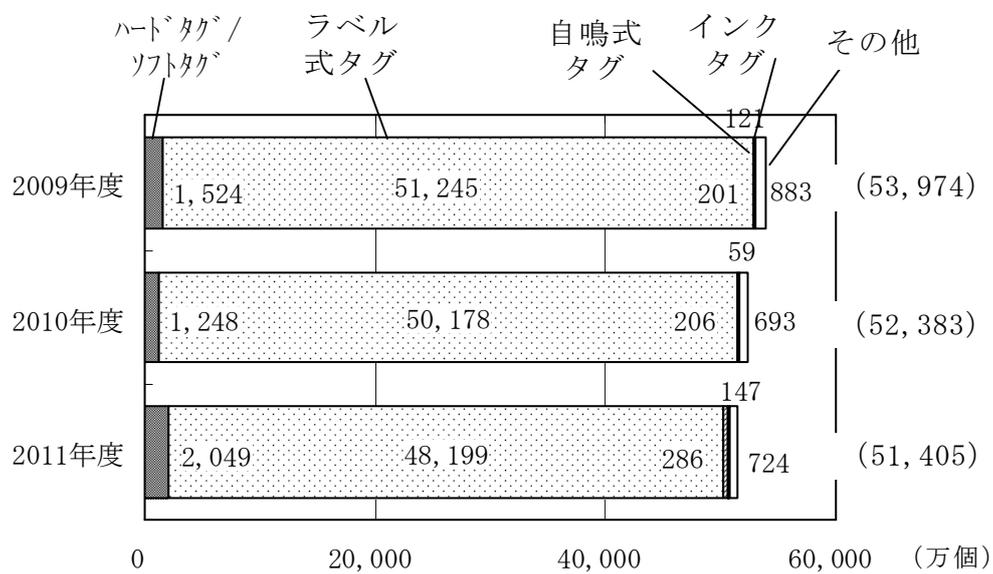
注：（ ）内の数値は全体の設置台数。

参考図2 EAS機器の設置台数（全体・動作方式別）



注：（ ）内の数値は全体の設置台数。

参考図3 EASタグの出荷数量（全体・種類別）



注：（ ）内の数値は全体の出荷数量。

---

# 2011 年

## EAS機器の市場規模に関するアンケート

---

2012 年 4 月

<ご記入にあたって>

- 本アンケートでは、貴社の2011年1月～2011年12月の実績を基に数値を記入してください。

これまで本アンケートでは、各社の決算月に合わせて、決算数値をご記入頂いておりましたが、昨年度よりデータの整合性を高め、直近の市場状況を把握する為に対象期間を上記のように変更させて頂きました。

**【昨年度の同アンケートにご回答して頂いた企業様】**

昨年度のアンケートのご回答を、2009年度、2010年度の数値として記入しています。  
ご回答の際の参考としてください。

**【昨年度の同アンケートにご回答されていない企業様】**

2009年度、2010年度についても併せてご回答を頂けると幸いです。

- ご回答のほとんどが数字をお尋ねするものです。指示にしたがって数字を記入してください。ご記入は黒のボールペンまたは鉛筆でお願い致します。
- 記入済の調査票は、同封の返信用封筒に入れて ご投函ください。
- ご投函は 2012年4月27日(金)まで をお願いいたします。
- 調査で集められたデータはEAS機器の市場規模を把握するためにのみ使用され、他の目的に使用されることはありません。
- この調査票についてご不明の点がございましたら、下記担当者までお問い合わせください。

**【調査の主旨に関して】** 調査企画： 日本万引防止システム協会  
電話番号： 03-3355-2322  
担当者： 佐久間 博之

**【アンケートの記入方法に関して】**

調査機関： (社)日本リサーチ総合研究所  
電話番号： 03-5216-7313  
担当者： 桜井 昭

本アンケートでは、貴社で製造販売している「EAS(Electronic Article Surveillance:電子商品監視)機器」の設置台数、出荷金額等についてお伺いしています。

設置台数等のご記入にあたり、次の点にご留意をお願いします。

1. メーカーまたは(海外製品の)マスターディストリビューターのエンドユーザーへの設置台数をカウントしてください。
2. 天井式、マット式、ゲート式とも、ゲート(アンテナ)1機につき1台とカウントしてください。例えば、ゲート式の場合は設置個所(出入り口)が1箇所でもゲートが2本の場合は2台、3本の場合は3台、4本の場合は4台とカウントします。

問1 貴社で製造販売しているEAS機器の設置台数についてお伺いします。

貴社では、2011年度において、EAS機器を何台設置しましたか。数字をご記入ください。

	2009年度	2010年度	2011年度
設置台数	<input type="text"/> 台	<input type="text"/> 台	<input type="text"/> 台

問2 問1でお答え頂いたEAS機器の設置台数を用いてお答えください。

(1) 2011年度について、問1でお答え頂いた設置台数を100%として、①～⑬の設置店舗別におおよその割合を記入してください。

	2009年度	2010年度	2011年度
① ドラッグストア	%	%	%
② ホームセンター	%	%	%
③ 衣料品、 ブランドショップ	%	%	%
④ スポーツ用品店	%	%	%
⑤ AV・メディア ソフト店	%	%	%
⑥ 家電量販店 〔カメラ・パソコン ショップを含む〕	%	%	%
⑦ まんが喫茶、 ネットカフェ	%	%	%
⑧ カー用品店	%	%	%
⑨ 図書館、資料室	%	%	%
⑩ 総合スーパー	%	%	%
⑪ ディスカウントストア	%	%	%
⑫ 書店	%	%	%
⑬ その他	%	%	%
合計	100%	100%	100%

①～⑬の合計が100%となります。

その他の内容をお書きください。(例)コンビニ、酒屋、宝飾店など

(2) 2011 年度について、問1でお答え頂いた設置台数を 100%として、EAS機器設置表示ステッカーが付いている機器のおおよその割合を記入してください。

	2009年度		2010年度		2011年度	
ステッカー 貼付台数		%		%		%

EAS機器導入店表示



ステッカー

(3) 2011 年度のEAS設置店舗数を 100%として、EAS機器導入店表示POPが付いている店舗のおおよその割合を記入してください。

	2009年度		2010年度		2011年度	
ステッカー 貼付台数		%		%		%



POP

問3 2011年度について、問1でお答え頂いた設置台数を100%として、①～④の動作方式別におおよその割合を記入してください。

	2009年度	2010年度	2011年度
① RF方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
② AM方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
③ EM方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
④ 自鳴方式	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %	<input type="text"/> %
合計	100%	100%	100%

①～④の合計が100%となります。

問4【EAS 機器のメーカーまたは輸入製品のマスターディストリビューターの方のみお答えください。】

- (1) 2011年度における、貴社におけるEASタグの出荷数量をご記入ください。
- (2) 2011年度について、(1)でお答え頂いたEASタグの出荷数量の種類別にみた内訳を、①～⑤の種類別にご記入ください。

	2009年度	2010年度	2011年度
(1)出荷数量	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
合計	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
(2)種類別の出荷数量	(内訳)	(内訳)	(内訳)
① ハードタグ/ ソフトタグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
② ラベル式タグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
③ 自鳴式タグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
④ インクタグ	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個
⑤ その他	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個	<input type="text"/> 個

①～⑤の合計が、(1)出荷数量に等しくなるようにしてください。

問5 【EAS 機器のメーカーまたは輸入製品のマスターディストリビューターの方のみお答えください。】

2011 年度の貴社の EAS 機器の売上(出荷金額)をご記入ください。

※ 「EAS 機器の売上(出荷金額)」は、カメラ関係を除くEAS本体、同工事費、同保守費、タグの売上の合計金額としてください。

	2009年度		2010年度		2011年度	
EAS 機器売上	<input type="text"/>	万円	<input type="text"/>	万円	<input type="text"/>	万円

単位を「万円」としておりますので、ご注意ください。

上記のEAS機器の売上のうちで保守費の金額をご記入ください。

	2009年度		2010年度		2011年度	
保守費 売上	<input type="text"/>	万円	<input type="text"/>	万円	<input type="text"/>	万円

問6 【ケーブル式盗難防止機器のメーカーまたは輸入製品のマスターディストリビューターの方のみお答えください。】

2011 年度の貴社のケーブル式盗難防止機器の売上(出荷金額)をご記入ください。

※ 機器の売上(出荷金額)は、機器、同設置費および保守費の売上の合計金額としてください。

※ 展示商品への電源供給機能を含む機種についても取扱いがあれば、カウントしてください。

	2009年度		2010年度		2011年度	
機器売上	<input type="text"/>	万円	<input type="text"/>	万円	<input type="text"/>	万円

単位を「万円」としておりますので、ご注意ください。

問7 日本万引防止システム協会に対して、ご要望、ご意見があればお書きください。

--

.....

差し支えなければ、お名前と連絡先等のご記入をお願いいたします。(記入漏れなどがあった場合、内容の確認をさせて頂くためのものです。集計の対象にはいたしません。)

会社名		部署名	
お名前		電話番号	

~~~~ ご協力、どうもありがとうございました ~~~~

2011年度

EAS 機器の市場規模に関する調査報告書

平成24年6月発行

日本万引防止システム協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-2-8 中村ビル

TEL : 03-3355-2322 FAX : 03-3355-2344

URL : <http://www.jeas.gr.jp/>